

教務主任ちょこっとコラム～家庭と学校と地域と～

文責 主幹教諭

いよいよ4月に古川西小中学校が誕生します。「先輩として後輩を引っ張っていきたい」「苦手な教科ができるようになりたい」「中総体で良い成績をとりたい」「仲間と もっといろんなことをしたい」などなど西中生は来年度に向けて意欲に満ちあふれています。そんな子供達に我々ができることを考えたとき、応援することしかないのではないのでしょうか。

そこで、本校では今年度から「みんなでつくり、育てる、みんなの学校」の共通理念のもと、

「古川西中学校応援団」を立ち上げました。

現在、応援団ではパッチワーク教室や学習会、餅つき大会など勉強だけでなく様々な体験をする機会を設けています。この体験が将来、子供達が大人になりこの地域を離れることになっても時を経て、大事な経験として心に残るのではないのでしょうか。大人から愛情を注がれたという経験は、人を成長させ、安心感となって次に踏み出すエネルギーとなります。

最近、自分の故郷に貢献したいという若者が増えているそうです。理由は、子供の頃に過ごした故郷での経験が大きく関わっているようです。

応援団立ち上げには生徒を応援すること以外に地域の活性化を図り、地域の絆を深めるという目的があります。子供を見守り、子供のために何かできないかとあれこれ考え、地域が協力して何かをするという行為が、地域に活気をもたらし、その地域の取組により子供達が地域の大きな力になっていく。想像しただけでもわくわくしませんか。

この地域の一員であるみんなで力を合わせて子供達を育てていきたいものです。

来年度は古川西小中学校応援団として続きます。学校・保護者・地域が協力し、もっと大きな輪となり子供たちを支えていき、その結果自分たちも元気になる。そんな活動を行っていききたいものですね。
おもしろいこといっぱいやりませんか？

